

〔主張〕 チームとしての推進

栃木県小学校長会副会長

橋本 和英



環境省は、地球温暖化対策の一環として平成十七年度から、冷房時の温度を二十八度でも快適に過ごすことができるライフスタイルであるクールビズを推進してきました。

クールビズが始まったときは、これまで男性が背広にネクタイが当たり前だった場で、本当にネクタイを外して良いものかどうか心配したことを思い出します。今ではすっかり定着してきました。今年度も節電の取組が必要とされていることからクールビズ期間を、五月一日から十月末日としています。近頃、襟が少し

〔主張〕 素直に受け止めつつ姿勢は凛として

栃木県小学校長会副会長

山口 史子



新年度が始まる四月一日、教職員に私の思いとして必ず伝える話があります。

一つは、北海道教育大学、庄井良信氏「弱さへのまなざし」からの話です。「激しい吹雪に力づくであらがい歩むのでもなく、あきらめて、力なくのみこまれるのでもない。『ああ、雪だな・・・』と素直に受け止めつつ、姿勢は凛として、迷いながら、戸惑いながら進んでいく。今、そんな生き方が大切ではないか。」またそれは「困難が多い子育てや教育の日常と重なる。」とありました。当時、新任校長で迷いばかりの私は大変勇気づけられました。

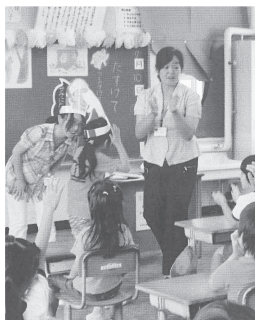
もう一つ。ある担任教師の言葉です。「こんなに算数を考えたのは久しぶりです。考えるのが楽しかった。算数が大好きだったことを忘れていました。この楽しさを伝えたくて教師になったのに・・・」校内授業研究会後の言葉です。教師の使命を再確認し、先生方への信頼が深まった意義ある言葉でした。教えるプロとして、児童にその教科の楽



しき、おもしろさ等を伝え、伝わる喜びを味わう。教師だれもが持つ専門性への自信と児童への思いでしょう。今、教育現場は学習、児童指導の両面で、期待とともにその対応が今まで以上に問われています。しかし、教職員の日々の仕事は多様です。それらは、研究・研修等の時間も十分とれない中で、個々の教職員の使命感や責任感、地道な努力に支えられています。様々な課題多き教育現場ですが、児童のために「課題を恐れず素直に受け止め、解決への姿勢は誠実に凛として。教職員の力を結集して確かな一歩を進める。」経営を実践していきます。この思いを持って、県小学校長会のために、微力ながら努力いたします。

豊かな心をもち 輝いて生きる
子どもの育成を目指す学校経営

地域と連携を図った道徳教育の充実を目指して
茂木町立須藤小学校 清宮 正道



「道徳授業(校内研究会)」

本校は、栃木県東部、茂木町の北西部にあり、自然に恵まれた八溝山系の中にたえず児童数六十八名の学校です。私が子どものころは、この須藤地区にも小学校四校、中学校一校がありました。当時の流れとともに統廃合をくり返し、今では須藤地区に残る唯一の学校です。

本校では、地域社会と連携を図った道徳教育の充実に力を入れ「自分が好き・学校が好き・ふるさと須藤が大好き」な児童の育成に努めています。

家庭や地域社会と連携した具体的活動として次の活動をご紹介します。

一 道徳の時間
○保護者の直接参加型
保護者の方に直接参加していただきます。形態とし

二 体験活動
○地域のよさを知る活動
地域と学校のよさを知るために、親子で「須藤つ子いろはかるた」の取り札を

作成し、その発表会やかるた取りを行いました。
○地域と連携した体験活動
児童が地域に出て地域の方とふれあい、地域を学ぶ活動に「仲良しふるさとふれあい学習」「田植え」「稲刈り」「ブルーベリー摘み体験」、幼児小交流活動の

聴き合い学び合う 心豊かな児童の育成

下野市立国分寺小学校

鈴木 伸一

本校は、下野市南部、国道四号沿いに位置し、児童数五百八十四名、創立百三十九年目を迎える伝統ある学校です。学校周辺は住宅が建ち並び多くの公園や遊歩道が整備されるなど大変環境に恵まれています。

本校の今年度のスローガンは「聴き合ってやさしき風を起こし、学び合っているのちを輝かせよう」とし、多くの特色ある活動により「豊かな心をもち 輝いて生きる子どもの育成を目指す学校経営」に努めていきます。

一 学び合う学習の充実
学校課題研修のテーマ

「ちびっこなかよし運動会」等があります。また運動会や学習発表会にも高齢者との交流活動があります。今後、少人数教育をいかにし、児童がふるさとへのよさを知り、愛する心をはぐくむ教育活動を展開していきたいと考えています。

下(国中)との連携を目指して、児童生徒及び教員の交流を図っています。例年六月中旬に行われている国中の合唱コンクールに六年生が招待され鑑賞してくるとともに、上位三クラスが本校の音楽集会でその歌声を披露してくれます。また、定期的に国中生と一緒に朝のあいさつ運動を実施したり、国中生が本校に職場体験に来たりしています。

教員も毎年一名ずつ丸一日、お互いの学校に向き授業を行ったり授業に参加したりしています。また、夏季休業期間中の半日を小中合同で研修会を実施し、学習や生活の実態などの情報交換や指導上の共通理解を図っています。



「音楽集会での中学生の歌声披露」